

2023年2月12日 顕現後第六主日礼拝説教
「心の底から赦されよ」（マタイ5章21～37節）

○マタイ5章21～22節について

「あなたがたも聞いているとおり、昔の人は『殺すな。人を殺した者は裁きを受ける』と命じられている。」（21節）
救い主イエスは、十戒にある「殺してはならない」の戒めを「人の命を奪わねば、それでよし」とはされず、大きな禍の火種となる怒り、妬み等をもったままにするなど仰られた。

今日のみことば：マタイ5章22節

「しかし、わたしは ^い言^{きょうだい}っておく。兄弟に ^{はら}腹^たを立てる者は ^{もの}だれでも ^{さば}裁^うきを受ける。」

①兄弟：キリストを信じる者から始まる〈あなたの隣人〉

②腹を立てる：【原語】怒る、いらいらする

問：わたしたちは、なぜ兄弟に腹を立てるのか？

- ・わたしの思いどおりに相手が動いてくれない
- ・ここまでしてるのに、わたしの気持ちを判ってくれない
- ・あの人には、よくしてあげるのに、なぜ、わたしには…

○マタイ5章23～24節について

「あなたが祭壇に（罪の赦しを願う）供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持っているのをそこで思い出したなら…」（23節）

*反感：【原語】（～に）逆らう、背く、（～と）ぶつかる

キリストは、「罪の赦しを神に願うより、先に兄弟からの赦しを受けよ」と語られた。わたしたちも、家族や隣人を傷つけたままにして、神からの赦しを求めているだろうか。

「供え物を祭壇の前に置き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰って来て、供え物を献げなさい。」（24節）

※怒り、憎しみ、妬みなどが深くなると、心が悪しき思いに染まり、そこから湧き出る言葉、行いが、人に苦しみを与えるだけでなく、あなたの命をも損なわせていく。